

## 基礎を支える杭工事中

### 新庁舎建設工事進捗レポート

杭工事が11月6日から始まりしました。新庁舎の杭(場所打ちコンクリート杭)は、地下約20mにある固い地層まで直径約2mの穴を掘削し、その中に鉄筋のカゴを入れコンクリートを流し込むことにより、柱を作ります。この工事は12月下旬まで続き、42本の場所打ちコンクリート杭を作ります。杭工事後は、地下工事の安全対策となる仮設工事の山留め工事を開始します。



鉄筋のカゴを吊り上げてケーシング内に入れている様子  
詳細は町ホームページをご覧ください

## 姉妹校で異文化交流

### 大津北中学校と台湾高雄市立民族国民中學で交流

10月23日～25日に、台湾高雄市立民族国民中學の生徒22人、教員2人が町を訪れ、大津北中学校の生徒と学校交流を行いました。両校は平成29年に姉妹校締結をしています。

2日間の交流の中で、民族中の生徒たちは、書道や理科の授業に参加したり、地域の人と一緒に郷土料理を作ったりして交流を深めました。夜は大津北中の生徒の家にホームステイをし、日本での生活を楽しみました。



歓迎レセプションの様子

## 大津町の牛・馬が大躍進

### 第12回ふれあい畜産まつりが開催

県家畜市場(岩坂)において11月2日に第12回ふれあい畜産まつりが開催されました。肉用種牛1部において緒方恭三さん(内牧)が出品した「きく」号が部門名誉賞首席に輝き、県内で最高評価を獲得しました。肉用種牛4部では(株)ストームファームコーポレーション(杉水)出品の牛が名誉賞2席と3席を受賞し、種馬5部では帆保新次さん(下町)出品の馬が名誉賞2席に入賞しました。町畜産農家の生産技術が高く評価されました。



部門名誉賞首席に輝いた緒方恭三さん(内牧)と「きく」号

### 農林水産大臣賞&グランドチャンピオン受賞

(株)熊本県畜産流通センター(菊池市)において10月14日～18日までの5日間、第27回熊本県肉畜共進会が開催されました。黒毛和種24頭、あか毛和種22頭の中から(株)帆保畜産(下町)がグランドチャンピオンと農林水産大臣賞を受賞しました。日々丹精込めて育てた牛が県内トップクラスと評価され、県内外に向けて高い技術力が発信されました。



受賞した(株)帆保畜産出品の枝肉

## 11月11日～17日は税を考える週間

### 税に関する作品表彰式

毎年「税を考える週間」に併せて国税庁が募集する税に関する作品の表彰式が、11月13日に菊陽町光の森町民センターで行われました。

菊池地区2市2町の小中学校から応募された書道、作文、ポスター、標語約3,000点の中から、大津町の3人の小中学生が入賞し表彰を受けました。また、表彰式に併せて税務署長から(公社)菊池法人会青年部会・女性部会に租税教育活動に対しての感謝状も贈呈されました。



前列左から日野正人さん(室)と橋本千春さん(室)、藤原莉奈さん(矢護川)、尾上結彩さん(美咲野)、松崎紗空さん(室)

## 災害に備え連携強化

### 大津警察署臨時機能移転に関する協定を締結

10月31日、大津警察署と町は「大津警察署臨時機能移転」に関する協定を締結しました。これは、大規模な災害により大津警察署が使用できない場合に、町生涯学習センター内に警察機能を一時的に移転するためのものです。警察機能を早期に復旧し、災害応急対策や地域住民の安全・安心の確保に向けた活動を迅速かつ的確に行うことができるよう、連携して取り組んでいきます。



調印を行った高光純司大津警察署長(左)と家入町長(右)

## 災害に地域で備える

### 大津町総合防災訓練

大津町総合防災訓練が10月27日に行われ、避難所運営訓練や炊き出しなどの訓練を実施しました。午前9時に震度6強を想定した防災無線が放送され、町内の自治会ごとに防災訓練が開始されました。その後、災害対策本部から避難指示が出され、大津東小学校に指定避難所を設置しました。周辺地域の行政区嘱託員の皆さんを中心に避難所運営の組織を作り、それぞれの班に分かれ、地域と行政が一体となった訓練が行われました。今回は防災消防ヘリの飛行展示も行われ、参加者は普段見られない救出の様子を熱心に眺めていました。



食改による炊き出し訓練ではアルファ米のカレーが作られました



消防士の指導のもと消防団員による倒壊家屋からの救助訓練が行われました



防災士益田和人さんによる防災講話



菊池広域連合南消防署員による熊本県防災消防ヘリ「ひばり」での救出訓練



東小における避難所開設・運営訓練運営班ごとに訓練内容の報告を行いました